

元
昭

丙
受付昭
九
二月廿二日
第三
五〇

立案 昭和 年 月 日
決裁 昭和 年 月 日

爵位課長

宗秩寮總裁



宮内事務官

了

故海軍大佐吉井五郎位階追陞ノ件

昭和九年二月九日
裁可
三月三日達
官報報告済
許令二月廿二日
昭和十八年

臺帳記入
月
日

裏面白紙



故海軍大佐吉井五郎位階追陞、件
右謹テ裁可ヲ仰ク

昭和十九年二月十九日

内閣總理大臣東條英機



内閣

裏面白紙

人海位第一〇號

案起

昭和十九年二月十八日

裁定

昭和十九年二月十九日施行

昭和 年 月 日

内閣總理大臣

内閣書記官長



内閣書記官



故海軍大佐吉井五郎位階追陞ノ件

辭令案

例文

昭和十八年三月三日付

内閣

昭和十八年三月三日

敍正五位 昭和十八年三月三日死亡 故海軍大佐 從五位 吉 井 五 郎

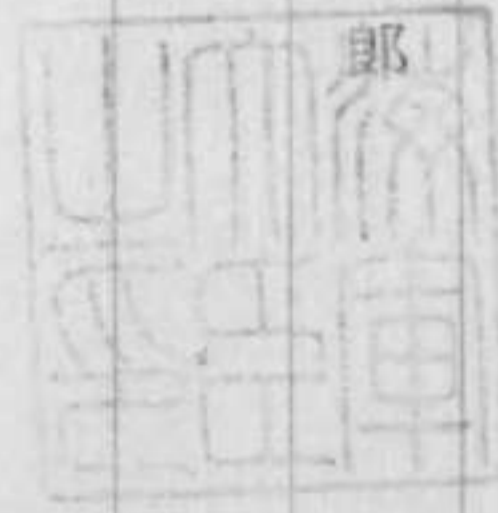
大正十二年九月二十日任海軍少尉以來在職十年以上

右文武官敍位進階内則第四條ノ二ニ依リ

謹テ 奏ス

昭和十九年二月 十七 日

海軍大臣 嶋 田 繁 太 郎



海 軍

昭和十八年三月三日

海秘人第二九四號

昭和十九年二月十七日

海軍大臣 嶋田 繁太郎



内閣總理大臣 條 英 機 殿

故海軍大佐吉井五郎ハ多年軍職ニ在リテ克ク其ノ任務ヲ
盡シ功績顯著ノ者ニ候處ニユイギニア東方海面ニ於テ作
戰從事中昭和十八年三月三日戦死候ニ付テハ特ニ位一級

海軍

被追陞度別紙上奏書進達ス

(終)



裏面白紙

丙發第四九號

一 故海軍大佐 從五位 吉井 五郎

右特旨ヲ以テ敍位相成候ニ付位記竝辭令及回送候
條傳達方御取計有之度候也

昭和十九年二月二十二日

宗秩寮總裁子爵 武者小路 公共

海軍大臣 嶋田 繁太郎 殿

祭令上奏番号

海軍人字二九四号

敍日昭和十八年三月二日
辭令二月二十二日

宮内省